

好みの飲食店...

条件に合ったホテル

# 携帯かざし楽々検索

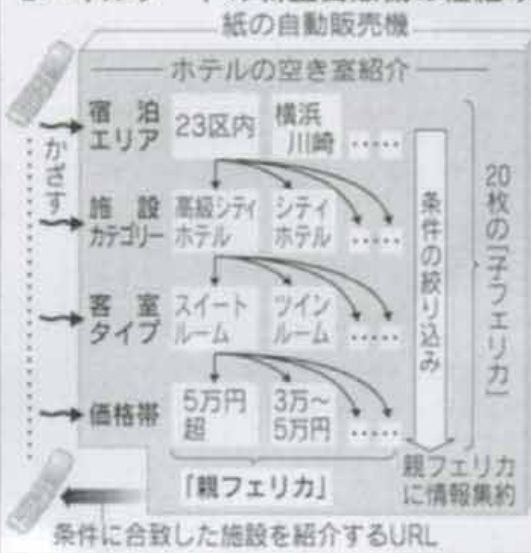
モバイルゲート  
予約支援機開発  
駅や空港に設置

ITベンチャーのモバイルゲート(東京・港)は非接触IC「フェリカ」を利用した予約支援システムを開発した。予約可能な宿泊施設や、好みの飲食店を探す際、ICチップに携帯電話をかざすだけで検索が進む。携帯電話の画面操作より簡単だ。ICチップを埋め込む筐体(きょうたい)には装飾などが容易な紙を素材に使うこともできる。予約や検索のサイト運営者の需要を見込む。

自販機にもPOPにもみえる予約支援システム



モバイルゲートの新型自販機の仕組み



予約支援システム「ドコデシ・オクトパス」は十一月に発売する。フェリカICを使った制御システムは、IT企画・開発のビー・ユー・シー(札幌市、服部裕之社長)と共同開発した。ICチップを埋め込んだ外観は自動販売機や店

頭販促物(POP)に似ている。一台の「自販機」にICチップは最大二十個まで搭載できる。このうち「子フェリカ」に当たる二十個のICチップに携帯電話をかざしながら希望の条件を絞り込んでゆき、最後に「親フェリカ」に当たるフェリカICチップに情報を集約

する。宿泊予約サイトを例にとると、宿泊エリア、施設のカテゴリー、客室タイプ、価格帯の四項目でそれぞれ四種類の選択肢を用意、「子フェリカ」に情報を書き込んでおく。利用者は「親フェリカ」に携帯電話をかざして認識させたらうで、項

目ごとに携帯電話をかざして希望を選択、最後に再び「親フェリカ」にかざすと条件に合致した宿泊施設が一覧になったサイトのアドレスが送られてくる。このURLを開いて実際の予約に移る。音声案内、LEDによる光点滅機能も備えており、不慣れた客の操作も

支援できる。宿泊予約サイトの場合はターミナル駅や空港に設置して当日客の取り込みを使うなど、自販機は実際の施設に設置して、携帯サイトへ誘導する。一連の操作は、サイトにアクセスして携帯画面上だけで条件選択していくよりも早い。「携帯電

話のキー操作がおっくうで携帯サイトを利用していない客層の掘り起こしに生かせるはず」(モバイルゲート)という。筐体は設置が簡便になるように折り畳み可能な紙製とした。本体価格は五十万~八十万円で、来年二月末までに五十台の販売をめざす。